

学園創立 54 年記念講話

宮崎日本大学学園は、4 月 25 日（火）で創立 54 年目を迎えました。それを記念して、4 月 24 日（月）、吉良 啓理事長が全校生徒に向けて講話を行いました。

吉良理事長は、「立志の教えに従い、先生を超える学問を身につけ、校訓の“明・剛・直”のとおり明るく強く素直に、明日に向かって頑張りたい」と話されました。

宮崎日本大学高等学校は、昭和 38 年に宮崎県、宮崎市の支援を得て、全寮制の男子校として開校しました。昭和 61 年には中学校が開校し、名前を「宮崎日本大学学園」と改めました。そして、平成 25 年に創立 50 周年を迎え、全ての校舎の建替えを行いました。中学校は今年で創立 31 周年、高校は 54 周年を迎えました。開校以来、学園はさまざまな発展を遂げ、進化し続けています。

宮崎日本大学学園は、これからも未来を見据えて学園づくりに励んでいきます。今後とも、宮崎日本大学学園をよろしくお願い致します。



正姿黙想

本学園では、毎朝この「正姿黙想」の時間があります。朗唱される日本大学学祖・山田顕義先生に与えられた吉田松陰先生の「立志の教え」を、黙想し、正しい姿勢で聞きます。



吉良理事長による講話



開校当初の高等学校校舎。周りは田んぼばかりです！



現在の校舎（正面玄関）